

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ともしびの家-MOROE-

公表日 令和7年 2月 25日

利用児童

数 2名 (兄弟のため1世帯)

回収数 1世帯 (100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					環境の広さは、規定に基づき運営しております。現在のスペースをより有効に活用するために、家具や備品の配置を見直し、より快適に過ごせる環境を整えます。また、天候の良い日は屋外活動の機会を増やすことで、活動の幅を広げます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					職員の配置については、規定に基づき適切な人数で運営しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					「わかりやすさ」への配慮をさらに強化するため、部屋のゾーニングを工夫し、目的ごとに明確にエリア分けを行います。また、視覚的な案内表示を増やし、より直感的に理解しやすい環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					引き続き、清掃や整理整頓を徹底し、快適な環境を維持します。特に換気や消毒の頻度を一定に保ち、衛生管理の質を維持します。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					より専門的な支援ができるよう、職員の研修を定期的に行い、支援の質を向上させます。また、保護者さまとより密に連携し、お子さまの特性やニーズを深く理解した支援を心掛けます。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					プログラムの内容をよりわかりやすく伝えられるよう工夫します。また、実際の支援内容とプログラムの整合性を定期的に確認し、必要に応じて更新します。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	100%					計画の透明性を高めるため、保護者さまとの共有を強化し、定期的な面談を通じて個別の支援内容について話し合う機会を充実させます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					より個別ニーズに沿った支援を行うため、アセスメントの精度を高め、計画の見直しを柔軟に行います。保護者さまの意見も積極的に取り入れながら、適切な計画作成を進めます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					職員間の情報共有を強化し、計画に沿った支援が正確に実施されるよう努めます。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					新しい活動を取り入れたり、季節に応じたプログラムを企画したりして、こどもたちが飽きることなく楽しめる環境を提供します。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				100%		地域の施設や団体と連携を深め、交流機会を増やせるようにします。また、保護者さまにもこうした活動の機会について積極的に情報提供を行います。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					今後も引き続き、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				今後も計画を基にした説明を徹底し、保護者さまが内容を十分に理解できるよう工夫します。必要に応じて個別面談の時間を設けるなど、双方向の理解を深めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%				ご家族向けの支援環境を整えられるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				送迎時の密な情報共有や定期的な面談を継続します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				引き続き定期的な面談を実施するとともに、個別相談の時間を柔軟に設定できるよう配慮します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				引き続き、こどもたちや保護者さまに寄り添った支援を心がけます。また、職員同士でも支援方法についての情報共有を行い、より良い支援ができるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%				感染症の状況により、しばらく実施できていません。今後は、参加しやすいオンラインでの情報交換の機会を設けるなど、多様な交流方法を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%				相談体制の周知をさらに強化し、こどもや保護者様が気軽に相談できる環境を整えます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				引き続き、保護者さまへの情報共有を徹底し、こどもに対してわかりやすい形で情報を伝える工夫を行います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%				今後も定期的な通信の発行やSNSの活用を継続し、よりタイムリーに情報を発信していきます。また、保護者さまが求める情報を把握し、より充実した内容にしていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				引き続き、個人情報の管理を徹底し、適切な運用を行います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%				引き続き、事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルの内容を職員全員に徹底し、保護者さまにも適宜情報共有を行います。年1回以上の緊急対応訓練の実施も検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%				より多くの保護者さまに訓練の実施状況を知ってもらうため、実施後の報告を積極的に行います。また、訓練回数や内容の充実を図り、より実践的な対策につながるよう努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%				今後も安全計画を適切に周知し、定期的な確認や見直しを行います。特に、保護者さま向けの案内資料の充実を図ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				事故発生時の対応手順を改めて整理し、より迅速な連絡体制を確立します。事故の再発防止策についても、職員全員で共有する場を設けます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				引き続き、こどもが安心できる環境づくりを徹底し、個々のこどものペースに合わせたサポートを行います。

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					より楽しい活動を提供するため、子ども自身の意見も取り入れたプログラムを増やせるよう努めます。また、通所がよりポジティブな体験となるよう、スタッフの関わり方も工夫します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					これからも保護者さまや子どもの意見を取り入れながら、支援の質を向上させます。